

この株主通信は、当社製品を活用して作りました



乾式オフィス製紙機 PaperLab



高速ラインインクジェット複合機



社内の古紙を

「再生」し

本紙の内容を「印刷」し

株主様にお届けしました

## 決算のポイント

### 業績ハイライト

2021年  
3月期

**売上収益 9,959億円** (前期比4.6%減)

在宅印刷需要のプラス効果の一方で、上期を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収

**事業利益 616億円** (前期比50.9%増)

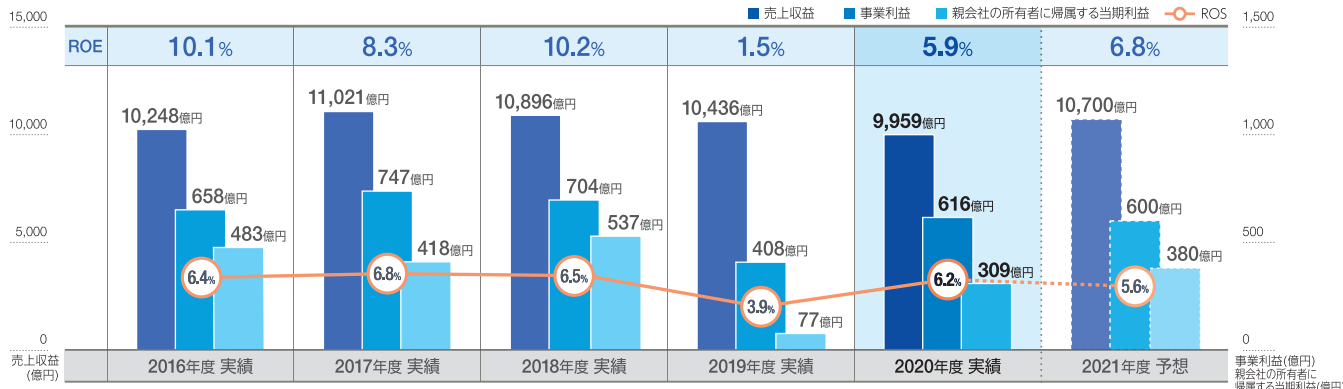
在宅印刷需要継続によるインク販売増加、販売価格上昇、費用削減の徹底などにより増益

2022年  
3月期

**売上収益 10,700億円 事業利益 600億円を目指す**

新型コロナウイルス影響からの回復を見込むと同時に、成長領域\*の伸長により増収、一方で在宅印刷需要など前期の増収要因が一段落することで減収を予想

\* オフィスプリンティング、商業・産業プリンティング、プリントヘッド外販、生産システム



### 株主還元

**配当金は前期と同額を維持、1株当たり年間62円に**

中期的な連結配当性向の目標は引き続き40%程度とし、安定的な配当を維持

配当について	中間	期末	年間
2021年3月期(実績)	31円	31円	62円
2022年3月期(予想)	31円	31円	62円

## 2021年3月発表の長期ビジョン

### 新しいビジョン「Epson 25 Renewed」を発表

● “「省・小・精の技術」とデジタル技術で人・モノ・情報がつながる、持続可能でこころ豊かな社会を共創する”をビジョンステートメントとし2025年を見据える

● 「環境」「DX」「共創」に取り組み、社会課題解決に向けたビジネスを展開

「環境」について、詳しくは中面でご説明します！

● 収益性を重視した経営へ - ROIC\*の導入 -

「資本コストを意識した経営」のさらなる実践に向け、全社業績目標として、従来のROEに加え、ROIC\*を設定。売上規模ではなく収益性を重視した経営へ

\* ROIC=税引後事業利益 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

● 事業ポートフォリオ管理による効率的資金循環

ビジネス領域を「新規領域」、「成長領域」、「成熟領域」の3つに大別。位置づけに合わせた資金配分・目標設定を行い、それらを定期的に見直すサイクルを回すとともに、事業間シナジーを勘案しながら、事業の方向性を判断

#### 【全社業績目標】

	2025年度
ROIC*	11%以上
ROE	13%以上
ROS	10%以上

### 長期ビジョン

詳しい情報はHPで!

[https://www.epson.jp/company/corporate\\_vision/](https://www.epson.jp/company/corporate_vision/)



# ありたい姿「持続可能でこころ豊かな社会」の実現に向け 新たなスタートを切りました



代表取締役社長 CEO

小川 恭範

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2021年3月期株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げるとともに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族に対しては、心よりお見舞い申し上げます。

現在、世界が直面している気候変動や新型コロナウイルスなどの社会課題は、私たちエプソンに大きな影響を与えるものであり、業績や経営戦略のみならず、企業としての考え方にも転換をもたらしました。私たちの新たな考えは、本年3月に発表した、2025年に実現したい姿とその取り組みを示した長期ビジョン「Epson 25 Renewed」、また2050年に向けた地球環境に対する取り組みである「環境ビジョン2050」にて表明しています。

私たちエプソンは、これまで、技術力に根差したモノづくりの会社として発展してきました。それゆえ、どちらかという、技術を磨き性能の良いモノを作れば売れる、という発想になりがちでした。今こそ、こういった考え方を転換し、常に社会課題を起点として、私たちの技術を使ってどのように課題を解決できるのか、社会にどう貢献していくのか、という発想でビジ

ネスを考えていきたいと思えます。このような考えに基づき、私たちエプソンが将来にわたって実現したい姿、すなわち「ありたい姿」を、「持続可能でこころ豊かな社会」と決めました。

ありたい姿を見据え、私たちは「Epson 25 Renewed」に掲げた方針に沿って事業活動を進めます。それは、エプソンの「省・小・精の技術」とデジタル技術を用いて、人・モノ・情報がつながる、「持続可能でこころ豊かな社会」を共創する、ということにほかなりません。社会が、これまでの過度な集中から分散へと向かう中、人・モノ・情報をスマートにつなげるソリューションを、個人の生活から産業現場にまで広く提供し、ありたい姿の実現に取り組んでまいります。

この取り組みの中で重要となるのは、「環境」、「DX」、「共創」の3つです。なかでもエプソンは、「環境」への貢献に重点を置きます。今年4月には、事業運営で使用する電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目標とするイニシアチブ「RE100」に加盟し、取り組みを加速しています。さらに、イノベーション実現のために、デジタル技術を活用し、多くのパートナーとの共創に取り組んでまいります。

## エプソンが取り組む 社会課題



## ありたい姿

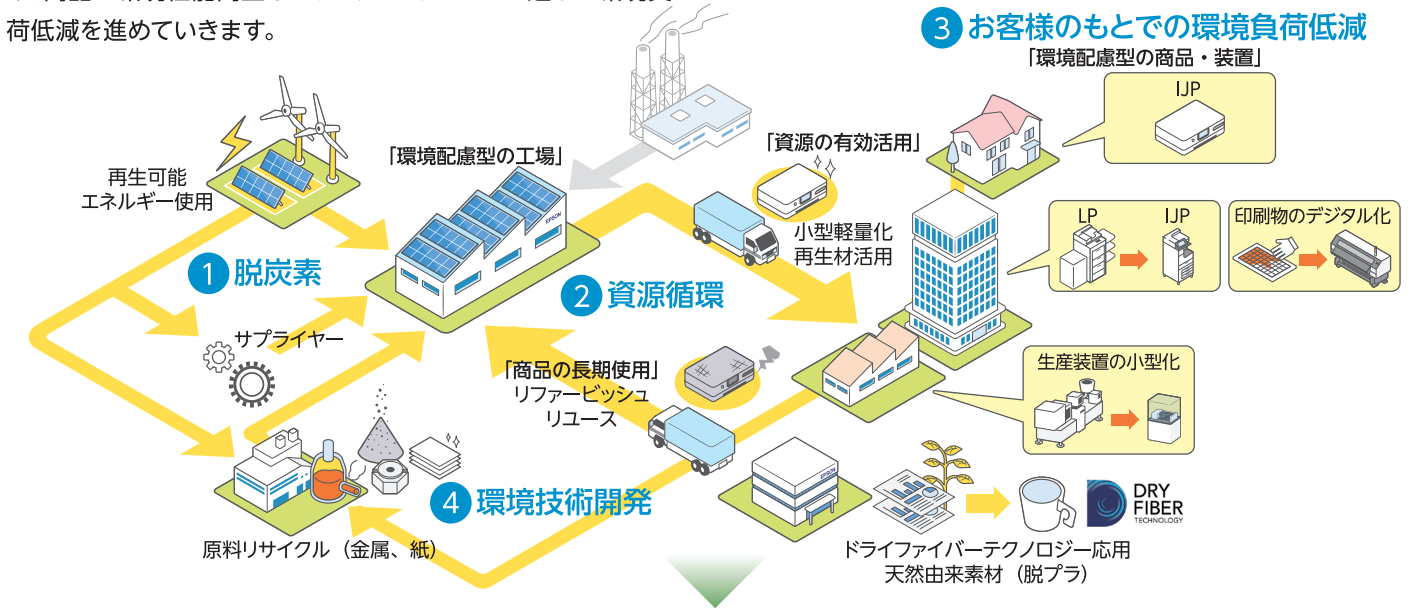
### 持続可能でこころ豊かな社会を実現する

事業を通じて解決に貢献



# 2050年に「カーボンマイナス」と「地下資源\*1消費ゼロ」を達成し、持続可能でこころ豊かな社会を実現する

「環境ビジョン2050」を実現するため、エプソンはものづくり企業として「省・小・精」を究め極めた独自の技術と取り組みにより、商品の環境性能向上など、バリューチェーンを通じた環境負荷低減を進めていきます。



**達成目標**

- 2030年：1.5°Cシナリオ\*2に沿った総排出量削減
- 2050年：「カーボンマイナス」、「地下資源」消費ゼロ

**アクション**

- 商品・サービスやサプライチェーンにおける環境負荷の低減
- オープンで独創的なイノベーションによる循環型経済の牽引と産業構造の革新
- 国際的な環境保全活動への貢献

\*1 原油、金属などの枯渇性資源  
\*2 SBT イニシアチブ (Science Based Targets initiative) のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標

## 取り組み事例

エプソンは「環境ビジョン2050」に掲げた目標達成に向け、脱炭素、資源循環、環境技術開発に、2030年までの10年間で1,000億円の費用投下を予定しています。また、経営資源のほとんどを、環境負荷低減に貢献する商品・サービスの開発に集中し、お客様のもとでの環境負荷低減にも貢献していきます。今回は「脱炭素」と「環境技術開発」の取り組み事例をご紹介します。

### 脱炭素

## グループ拠点の使用電力を2023年に100%再生可能エネルギーへ

エプソンは、2021年4月に全ての長野県内拠点\*の使用電力を100%再生可能エネルギーに置き換えました。これは長野県公営水力を活用した信州産のCO<sub>2</sub>フリー電力「信州Greenでんき」の活用を拡大した結果です。2021年度には全ての日本国内拠点\*、2023年には全ての海外拠点\*で全使用電力の100%再生可能エネルギー化を目指しています。



信州Greenでんき フタバ

信州の水でつくられた電気を使っています。

犀川、千曲川、木曾川、天竜川など信州の豊かな水資源から生まれた、地球に配慮した電気を使っています。

\* 一部、販売拠点などの賃借物件は除く

詳しい情報はHPで!

<https://www.epson.jp/osirase/2021/210326.htm>



### 環境技術開発

## 循環型経済の実現に向けたバイオマスプラスチックの技術開発

エプソンは、株式会社ユーグレナ、日本電気株式会社とともに、国立大学法人東京大学の岩田忠久教授と共同で、微細藻類ユーグレナ (和名：ミドリムシ) の貯蔵多糖であるパラミロンを使ったバイオマスプラスチックの一つである「パラレジン」の技術開発、普及推進を目的とする「パラレジンジャパンコンソーシアム」を設立しました。エプソンは、ユーグレナの培養に必要な栄養分を作り出すため、保有するドライファイバーテクノロジー (紙などの繊維材料から新たな素材を作り出す技術) を応用した「糖化プロセス\*の確立」に貢献します。

廃プラスチック有効利用率の低さ、海洋プラスチック等による環境汚染が世界的な課題となる中、エプソンの技術が課題解決につながるよう、取り組みを推進していきます。

\* 使用済みの紙を細長い繊維に分解し、繊維に含まれるセルロースを酵素分解等でユーグレナの培養に必要な糖源を作り出すプロセス



パラレジン  
ジャパンコンソーシアム  
Pararesin Japan Consortium

詳しい情報はHPで!

<https://www.epson.jp/osirase/2021/210329.htm>



## 会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
創立	1942年5月18日
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)
本店	〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号JR新宿ミライナタワー TEL: 03-5368-0700 (代表)
資本金	532億4百万円
従業員数	連結: 79,944 人 単体: 12,676 人
グループ会社	83社 当社含む国内 19社 海外 64社

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、支払明細発行の お問い合わせ先・郵便物送付先 <sup>*1</sup>	(お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料) (郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に関する各種 お手続きのお問い合わせ先・郵便物送付先 <sup>*2</sup>	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	<a href="https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/7/6724/index.html">https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/7/6724/index.html</a>

\*1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

\*2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

## 第79回 定時株主総会について(2021年6月25日開催)

本年の定時株主総会は、当社ウェブサイト(<https://www.epson.jp/IR/>)に掲載の決議ご通知のとおり、報告ならびに決議され、終了いたしました。

## 社外からの評価

 <b>FTSE4Good</b> FTSE4Good Index Series 英国(2020年6月) <a href="https://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good">https://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good</a>	 <b>2020 ecovadis</b> (Sustainability Rating)	 <b>2021 健康経営優良法人 ホワイト500</b>	 当社が活躍しています！
 <b>FTSE Blossom Japan</b>	<b>2020 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)</b>	 <b>CDP SUPPLIER ENGAGEMENT LEADER 2020</b> <b>CDP A LIST 2020 CLIMATE</b> <b>CDP A LIST 2020 WATER</b>	 フラチナクオリティ プラチナ・ゴールド 2020

詳細な内容は  
こちらを  
ご覧ください



● 投資家の皆様へ  
<https://www.epson.jp/IR/>



● サステナビリティ  
<https://www.epson.jp/SR/>



## セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表) <https://www.epson.jp>



用紙の再生および印刷は、障がい者雇用の促進を図る  
特例子会社エプソンミズベ株式会社で行っています